

30. プラリ地形探訪科 ～大地と暮らしの謎にふれる～ (2027年度)

【 水曜日 授業予定表 】 講師：先山徹、川端清司、鈴木寿志、梅林秀行、別所秀高ほか

					午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1		7	水	① ★	①入 学 式 (大阪国際会議場)					
2	4	14	水	1	日本列島の成り立ちと文化	地球年代学ネットワーク 先山 徹①	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明	クラスオリエンテーション		
3		21	水	2	地球のかげら:石の種類と見分け方	先山 徹②	コーダイオリエンテーション	終了後班役割説明		
4		28	水	3	海水準変動と大阪の地形	先山 徹③	自主活動	・班各担当・班長決定 各担当別会議 (代表者決定他)		
5		12	水	4	★上町台地と四天王寺から地形発達と信仰文化を考える。海岸線と段丘崖に人々が知覚したものはなにか	京都高低差学会 梅林秀行①	自主活動	班で上町台地周辺の高低差地形を歩く		
6	5	19	水	5	丹波の地形と恐竜	先山 徹④	自主活動	遠足行先を班で決める		
7		26	水	6	★丹波の地層バス探訪、水分け公園&丹波電発掘現場&たんば恐竜博物館など	先山 徹⑤	18時頃森ノ宮着			
8		2	水	7	琵琶湖の成り立ち・滋賀県の地形	琵琶湖博物館学芸員 里口 保文	国土地理院出張講座	地図と測量・地理院地図の使い方		
9・10		9	水	8②	西日本の石材と鉱床	先山 徹⑥	②社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)・コーダイフェスタテーマを考える			
11		16	水	③ ★	遠足 (行先未定)					
12		30	水	9	★化石からわかる過去の時代 (大阪自然史博物館)	大阪市自然史博物館館長 川端 清司①	大阪自然史博物館を案内			
13	7	7	水	10	★海の時代に起こっていたこと (大阪自然史博物館)	大阪市自然史博物館館長 川端 清司②	大阪自然史博物館案内学習後、懇親ランチ会予定 (長居)			
		8			夏 休 み					
14		8	水	11	地形・地質からみた京都1000年の都形成	大谷大学教授 鈴木 寿志①	自主活動	コーダイフェスタ発表準備		
15	9	15	水	12	★京都鴨川の旧地形と古代から近代に至る歴史や開発過程を探る	梅林秀行②	午後は班別に京都凸凹地形探訪			
16		22	水	13	六甲山地と大阪湾の生い立ちを探る	かがく教育研究所 菊本 格①	〃	コーダイフェスタ発表準備		
17		29	水	④ ★	④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)					
18		6	水	14	★甲山周辺で六甲変動を探る	菊本 格②	お弁当持参	希望者は「地すべり資料館」へ仁川駅まで歩く		
19	10	13	水	15	和歌山の地形・地層とワカヤマソウリウ発見	和歌山県立自然博物館学芸員 小原正顕①	自主活動	コーダイフェスタ発表準備		
20		20	水	16	★和歌山地層バス探訪、白崎海岸～ひろかわビーチ～緑色片岩	小原正顕②	18時30分頃森ノ宮着			
21		27	水	17	関西の火山と地質時代のマグマ活動	先山 徹⑦	〃	コーダイフェスタ発表準備		
22		10	水	18	石に残された地球の磁場が明らかにしたもの	先山 徹⑧	自主活動	コーダイフェスタ発表準備		
23	11	17	水	⑤ ★	⑤コーダイフェスタ (日程・場所 未定)					
24		24	水	⑥ ★	⑥社会への参加活動					
25		1	水	19	地質や地形がもたらした災害と恵み	先山 徹⑨	自主活動	成果発表会検討		
26	12	8	水	20	10時講座開始 長瀬川のつくった地形の移り変わりや人工的な土地改変	奈良文化財研究所 別所 秀高①	自主活動	成果発表会準備		
27		15	水	21	★石川・長瀬川に沿って大地の高低を愛でながら近鉄道明寺～JR志紀を歩く	別所 秀高②	懇親会 (予定)			
					冬 休 み					
28		12	水	22	地層と温泉、温泉大国の分布環境成分・効能とお薦め温泉	温泉学会 竹村 和花	自主活動	コーダイフェスタテーマを考える		
29	1	19	水	23	二条城周辺の地形と歴史の講座	梅林 秀行③	自主活動	成果発表会準備		
30		26	水	24	★二条城周辺鴨川扇状地と後背湿地の関係&堀川・神泉苑の歴史環境を歩いて学ぶ	梅林 秀行④				
31		2	水	25	地質と文化・文明、ヨーロッパとヒマラヤ山脈	鈴木 寿志②	自主活動	成果発表会準備		
32	2	9	水	26	地質遺産の保護と活用ージオパークと日本遺産	先山 徹⑩	〃	成果発表会資料まとめ		
33			水	27	学習成果発表会					
34		16	水	⑦	⑦修了式					
35	3	1	水	⑧ ★	⑧卒 業 旅 行 (推奨:日帰り)					
36		2	木	⑨						
授 業 (自主企画、成果発表会)					27 (講座数1～27)			20260921		
学 習 事 業 (① ～ ⑨)					9 (講座数①～⑨)			Ver9.21		
合 計					36					

注) 1. 日程、カリキュラム内容、講師等は、都合により変更になる場合があります。